

作成：2025 年 9 月 12 日

## 令和 7 年度（2025）CAD 製図専門学校学校関係者評価について

### 【改定スケジュール】

#### ★第 1 回評価委員会

日時：9/12（金）13：30-15：00

場所：CAD 製図専門学校 1 号館 1101 教室

内容：令和 7 年度自己評価の説明と質疑応答

評価項目担当者決定

評価に関する調書・資料閲覧

留学生学科授業視察・施設見学

#### ★第 2 回評価委員会

書面回答会議

9/30（火）まで 令和 7 年度各担当関係者評価表を事務局へ提出

10/9（木）まで 上記担当評価集計表を事務局から委員へ送付

#### ★第 3 回評価委員会

日時：10/20（月）13：30-15：00

場所：CAD 製図専門学校 7 号館 7302 教室

内容：令和 7 年度自己評価の説明と質疑応答

評価のまとめ 意見交換

建築学科授業見学・施設見学

#### ★第 4 回評価委員会

書面回答会議

10/30（木）まで 令和 7 年度学校関係者評価表を最終決定承認

○令和 7 年度学校関係者評価 WEB サイト公開予定日 11/13（木）

担当：CAD 製図専門学校

事務局 荊尾和政

katarao.k@cadseizu.ac.jp

電話：048-987-2711

## 令和7年度【学校関係者評価】

項 目	A	B	C	D
A：最良      B：良      C：可      D：不可・見直し				
教育理念目標人材育成				
評価担当：上田誠治				
①理念・目的・人材育成像は定められているか	○			
《コメント》 適切に定められている。 変化の激しい社会において、今後も掲げる教育理念、目標、人材育成像が学生にとって最善なものかを常に念頭に置き、検討や確認を続けていただきたい。				
②人材育成像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか	○			
《コメント》 社会や時代のニーズを捉えたものとなっており、よいと感じる。 今後は学科ごとに人材育成像を具体的に示していくことが必要であると考えている。				
③理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	○			
《コメント》 適切に取り組んでいる。 今後も教育活動全般を通して、学生の資質・能力の向上に向けた指導を継続していただきたい。				
④社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	○			
《コメント》 業界の現状を把握し、企業のニーズ等を踏まえた将来構想になっている。 就職率の上昇とともに、今後も社会に貢献できる人材育成や学生への指導を進めていただきたい。				
学校運営				
評価担当：上田誠治				
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	○			
《コメント》 年度ごとの運営方針等は、社会のニーズや動向を踏まえ、目的に沿い各委員会・会議での協議を経て策定され、年度当初に学校長から周知されている。				
②学則・細則・内規等は整備されているか	○			
《コメント》 適切に整備されている。				
③人事・給与に関する制度を整備しているか	○			
《コメント》 適切に整備されている。				

④意思決定システムを整備しているか	○			
《コメント》 必要に応じて、理事会、評議員会、各種委員会が行われており、学校における意思決定システムが整備されている。				
⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか		○		
《コメント》 全教職員へのPC配備やファイル共有など、情報システム化により業務の効率化が図られている。今後は教育管理ソフトの導入など、検討を重ねながらさらなる業務の効率化を進めていきたい。				
教育活動【建築士養成課程】				
評価担当：小牧敏治				
①理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	○			
《コメント》 教育理念や目指す学校像の実現に向け、建築業界を志す学生に対し、幅広い知識を身に着けるためのカリキュラム編成がなされていると評価します。				
②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	○			
《コメント》 建築業界を志す学生が就職した後も困らない学力を身に着けるため、適切なレベルでの授業展開がなされていると評価します。				
③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	○			
《コメント》 建築士受験時の学歴要件に適応すべくカリキュラム設定が行われている点を評価します。				
④教育課程について外部の意見を反映しているか・キャリア教育を実施しているか	○			
《コメント》 在籍教員の70%以上が非常勤講師でそのすべてが一級建築士を保有され建築業界での生業に就いているとのことで、業界の最新動向が反映されていると推察します。				
⑤授業評価を実施しているか	○			
《コメント》 学生からのアンケートにより理解度と意見を把握することに努められ、授業中の巡回視察もされている点を評価します。				
⑥成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか		○		
《コメント》 成績評価は内規に定め学生向けの手冊に明示して規定基準通り運用されているとのことで、今後更に客観性と統一性に向けての取り組みを期待します。				

⑦目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	○			
《コメント》 建築士取得の有用性について外部関係者の講演会や講座を開かれるなど、学生の理解を得るために行われていることを評価します。				
⑧資格・免許の指導体制はあるか		○		
《コメント》 自習環境を用意し開放されていることは評価出来ますが、今後更なるバックアップ体制の強化に期待します。				
⑨資格・要件を備えた教員を確保しているか	○			
《コメント》 建築士資格保有か同等の能力がある者の採用に努めているとのことで評価します。				
⑩教育資質向上への取り組みを行っているか	○			
《コメント》 教員も建築 CAD の資格を一緒に受けるなど資質向上へ取り組んでいることと、建築士試験のことに詳しい年配の方も常勤採用されているとのことなので評価します。				
⑪教員の組織体制を整備しているか	○			
《コメント》 見直しと改善を毎年行われ電子化などの準備も進められているとのことで評価します。				
教育活動【工業専門・高度専門課程】				
評価担当：上田誠治				
①理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	○			
《コメント》 適切に定められている。 留学生については、今後も教育活動全般を通して、規範意識の向上や社会性を育むための指導を継続していただきたい。				
②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	○			
《コメント》 学力差への対応のため T T を導入するなど、学生の多様な実態を踏まえた支援が行われていることは評価できる。				
③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	○			
《コメント》 シラバスを明文化するなど、適切な教育課程編成になっている。				
④教育課程について外部の意見を反映しているか・キャリア教育を実施しているか		○		
《コメント》 キャリア教育がどのように実践されているかを具体的に明記した方がよいと思う。				

⑤授業評価を実施しているか	○			
《コメント》 アンケート実施後、教職員へのフィードバックを通して、今後の授業改善につなげていただきたい。				
⑥成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか	○			
《コメント》 成績評価等を内規できちんと定め基準を明確化するなど、適切に運用がなされている。				
⑦目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	○			
《コメント》 適切に位置づけられている。				
⑧学生への教育指導は適切に実施しているか	○			
《コメント》 学生の出席状況がきめ細かく確認されており対策がとられている。 今後も欠席や遅刻が多い学生など、課題を抱えている生徒への指導を粘り強く続けていただきたい。				
⑨資格・要件を備えた教員を確保しているか	○			
《コメント》 人材の確保はどの業界でも課題となっており、教員の質は学生の資質向上にもつながっていくので、今後も継続してよりよい採用を行っていただきたい。				
⑩教育資質向上への取り組みを行っているか	○			
《コメント》 教員の資質向上への取組は非常に重要であり、今後もさまざまな研修等の機会をとおして、学び続ける教員の育成を継続的に進めていただきたい。				
⑪教員の組織体制を整備しているか	○			
《コメント》 今後も学校の課題解決のために、組織体制の見直しや改善を行っていただきたい。				
教育成果【建築士養成課程】				
評価担当：小牧敏治				
①就職率の向上が図られているか	○			
《コメント》 企業説明会を開催されるなど就職活動への意識付けも行われ令和7年5月1日現在卒業生数に対し90%、就職希望者数に対して100%の就職率であることを評価します。				
②資格取得率の向上が図られているか	○			
《コメント》 「建築 CAD 検定」など資格取得に向けたサポート体制があり、授業の中でも積極的に取り組み徐々に成果も見えてきているとのことです。				

③退学率の低減が図られているか		○		
《コメント》 大幅に学生数が増えている中で色々と対策を打たれている点を評価しますが、建築科については昨年同時期よりも退学者が多いようなので、今後に向けより一層の対策を期待します。				
④卒業生の社会的な評価を把握しているか		○		
《コメント》 電話、メール、LINEなどの通信手段を通じて把握に努められている点を評価します。				
⑤卒業生への支援体制を整備しているか		○		
《コメント》 資格試験の可否を知られてしまう恥ずかしさから調査に応じてもらえないケースも多いとのことなので、学生の方から連絡したくなるような支援体制の構築に今後期待します。				
教育成果【工業専門・高度専門課程】				
評価担当：細川 威				
①就職率の向上が図られているか		○		
《コメント》 令和7年度は最終的に就職率が85%を超える見込みとなっており、前年から約15%の上昇が見られる点は高く評価できます。ただし、留学生については在留資格の関係から採用に至るまでに時間を要するケースがあるため、今後は早期段階からの就労支援や企業とのマッチング体制を一層強化していくことが望まれます。				
②資格取得率の向上が図られているか		○		
《コメント》 JLPT受験率は36～46%と一定の成果が出ていますが、上位級（N1・N2）の所持率は十分とは言えません。CAD検定については会場校指定や補習体制を整備するなどの取組が評価できます。				
③退学率の低減が図られているか		○		
《コメント》 前年度より退学者数が減少し、生活面・学習面の支援が効果を上げている点は評価できます。今後も外国人留学生へのきめ細やかなサポートを継続的に行うことが必要です。				
④卒業生の社会的な評価を把握しているか		○		
《コメント》 卒業後も再就職・在留資格変更等の相談対応を行っている点は評価できます。追跡調査の方法は電話・メール中心であるため、近年のSNS活用など新しい手段も検討するとより効率的な情報収集ができると思います。				
⑤卒業生への支援体制を整備しているか		○		
《コメント》 卒業生に対して、再就職や在留資格の変更・更新などの相談を随時受け付ける体制が整えられており、継続的な日本での就労を支援している点は高く評価できます。卒業後の生活基盤を支える取り組みは極めて重要です。今後は、より多様な進路やキャリア形成に対応できるよう、卒業生とのネットワークの拡充や情報提供の仕組みを一層強化していくことが望まれます。				

学生支援				
評価担当：阿部将利				
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	○			
《コメント》 個々に応じた手厚い指導や進学先案内・採用企業求人は即時公開しており掲示は勿論、学生のPCから検索閲覧ができる環境も整備されている。外部講師によるビジネスマナー講話や企業の社長との懇談会も実施している。学校側からも企業の求める適性に応じて学校推薦を行っている事も評価できる。今後もさらなるサポートを期待している。				
②学生相談に関する体制は整備されているか	○			
《コメント》 キャリアカウンセラー有資格者も在籍して、個別対応が出来る場所を設定して安心して相談できる環境が整っている事や、特に在留資格に関しては「在留資格サポート委員会」にて細かいチェック及び対応をしている事を認識している。				
③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	○			
《コメント》 個々の状況に応じて「高校生・社会人別の進学支援制度」や「日本学生支援機構奨学金制度・教育ローン」等は書類作成のサポート業務を行いながら、募集要項の明示やホームページの公開も行っている				
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	○			
《コメント》 年一回の健康診断を行い、該当生徒に対しては再検査のフォローも行っている事や有所見者に対して再検査の確認や追跡調査も徹底して行っている事も確認できた。				
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	○			
《コメント》 放課後の体育館の開放や生徒たちに対して無償で体育館を貸与している。				
⑥保護者と適切に連携しているか	○			
《コメント》 個別の相談受付も当然行っているが掲示板にウェブやモバイル受付による相談窓口を設けて生徒たちが相談しやすい体制を実施している。				
教育環境				
評価担当：細川 威				
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	○			
《コメント》 令和7年度にはPCをさらに500台更新し、8号館の新築も行われるなど、大規模な環境整備が進められており、学習環境の拡充については高く評価できます。一方で、急速に進化するソフトウェアへの対応や、機器更新の計画などが課題になるかと思います。				



②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について 十分な教育体制を整備しているか		○		
《コメント》 キャリアサポートセンターの設置により、企業見学や就職先との連携を進めている点は評価できます。一方、インターンシップや海外研修等についてはより改善が求められます。				
③防災に対する体制は整備し、適切に運用しているか		○		
《コメント》 危機対応マニュアルや避難訓練を年2回定期的に行い、消防署指導の下での防災訓練も実施していることは評価できます。一方、入学者増加による災害時対応（帰宅困難者想定など）については、より具体的なシミュレーションや多言語対応の強化が望まれます。				
学生募集受け入れ				
評価担当：細川 威				
①学生募集を適切かつ効果的に行っているか		○		
《コメント》 建築学科の学科名変更、創立85周年記念、新校長就任などを活用した広報活動を展開し、学校説明会やオープンキャンパスの参加者数が前年比で1.6～1.7倍と大幅に増加している点は高く評価できます。				
②入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		○		
《コメント》 公平性や透明性を重視した運用がなされており、適切と考えられます。 平均点の算出や合格率・辞退率の分析を授業改善に活かす姿勢も評価できます。				
③入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		○		
《コメント》 実績を把握し、授業に適正に運用されています。				
④経費内容に対応し学納金を算定しているか		○		
《コメント》 学納金の算定や返還規程は適正に運用されており、問題はありません。				
⑤入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか		○		
《コメント》 募集要項にも明示しており、適切に運用されています。				
財務				
評価担当：田村正弘				
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		○		
《コメント》 令和7年度募集においてコロナ前と同等の出願者・入学者を獲得。前受金収入（学費）も学園85年の歴史において過去最高となった。それに伴い積極的な教育環境への投資を実施。今後も安定した学生の獲得と健全な財務内容の確保が十分に見込める。				



②学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	○			
《コメント》 主な財務比率を算出するなど、過去5年間の財務状況を適正に比較・分析している。				
③教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか		○		
《コメント》 過去の実績による予算作りではなく、各部門が今後の方向性を見据えた上で必要な予算を算出すべきである。それに伴う効果を、定期的なモニタリング実施により分析を行い次年度に反映させる。				
④予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか		○		
《コメント》 厳格なPDCAサイクルが実施され、予算意識・コスト意識の醸成が図られている。引き続き、現場からの予算検討・提出ができるよう組織一体となった取組をお願いしたい。				
⑤私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	○			
《コメント》 関連法規に則って、適正な監査が行われている。				
⑥私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか	○			
《コメント》 必要な情報については、適切に公開されている。				
法令等遵守				
評価担当：田村正弘				
①法令や専修学校設置を遵守し適正な学校運営を行っているか	○			
《コメント》 法令や設置基準の遵守について、全職員に各諸規則の説明・配布を実施。 加えて、各部署内における月例会議においても法令等の再確認を行っている。 このような対策により学校運営に係る法令の理解と遵守は学内で浸透している。				
②学校が保有する個人情報に関する対策を実施しているか	○			
《コメント》 管理職による授業巡回や職場環境視察等において、漏洩予備軍の指摘や改善を実施するなど、厳格な個人情報の保管・管理を行っている。同時に、日常的なペーパーレスの推奨を行い、不要な書類廃棄については信用できる業者へ溶解書類として廃棄している。				
③自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか	○			
《コメント》 自己評価については、自己評価委員会を組織し改善点を明らかにしている。令和6年度は職業実践専門課程認定の為の企業参画による協議会を2回実施。教育課程の検討・学生の企業見学・校内企業説明会を実施するなど認定に向けた活動に取り組んでいる。				

④自己評価結果を公表しているか	○			
《コメント》 自己評価については、ホームページに公表するなど年々精度向上を図っている。				
⑤学校関係者評価結果を公表しているか	○			
《コメント》 学校関係者評価結果については、ホームページに公表。評価結果について真摯に受け止め、改善できる点については関係部署を含め的確に対応している。				
社会貢献・地域貢献				
評価担当：阿部将利				
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	○			
《コメント》 学校の体育館を開放して、地域の学習塾の試験会場として利用をする等、地域行事の練習会場としても使用して頂き地域貢献をしている事や学校周辺の通学通行整理・地域環境美化への協力として、歩道の植栽の水やりや清掃も活発に行っている				
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	○			
《コメント》 前年より多い参加率で延べ人数は131名に増加して、年に10回（午前と午後）近隣のゴミ拾いや草取りを定期的に行い生徒も活発に参加して取り組んでいる事から問題無いと考えるが更なる活動に期待したい				
国際交流				
評価担当：阿部将利				
①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	○			
《コメント》 前年度から11か国の留学生の受け入れと、日本語教育機関の担当者向け・在籍中の留学生に向けての説明会を行い「各国」幅広く受け入れを行う体制をとっており、SNS等でも多数発信をしており、各国の国際交流を活発に行っている。今後は国際交流協会などとの連携を図りながら積極的に活動するとの事も確認している。				